

藝文協だより

第204号

平成21年7月
社)富山県芸術文化協会
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)

新会長に小泉博氏を選出 名誉会長に平田純氏、新しく副会長に浅岡節夫氏選任

第41回理事会・第21回総会



(社)富山県芸術文化協会の第四十一回理事会は、五月十三日(水)午後一時三十分より富山県民会館三〇四号室において、泉洋県生活環境文化部長を来賓に迎え、理事、参事、監事など約百名の出席を得て開催しました。

理事会では平成二十年度の事業報告・決算報告、平成二十一年度事業計画案・収支予算案が審議され、いずれも承認されました。

また、役員の変更案については、三月に行われた第四十回理事会での平田会長、小泉副会長の会長職、副会長職の辞意表明にともない平田前会長より、後任について会長副会長会議で諮った結果、会長に、副会長小泉博氏を推薦する旨が報告され、採決の結果、満場一致で承認されました。

挨拶で小泉会長は、「これまで副会長が限度で、裏方で尽くすという考えを持っておりましたが、状況を鑑みて引き受けることにいたしました。平田前会長の残された一年の任期を皆さんの力を借りて協会発展のため努力したい」と述べました。

また、平田前会長は名誉会長に選任されました。平成二十一年度事業計画、役員・事務局の異動につきましては、別紙をご参照ください。

三時三十分からは、五十嵐信夫県生活環境文化部長、朝倉隆文文化振興課長を来賓に迎えて、第二十一回総会を開催しました。

中尾譲治議長の進行により、理事会と同様の協議事項について審議し承認されました。

また、新たに副会長に浅岡節夫氏を会長が任命しました。

続いて、理事会でも協議された定款第二十条に、特命統括の設置及び特命統括は会長が理事会の承認を経て、委嘱する旨の定款変更案が提案され、承認されました。

平成21年度事業計画

(平成21年
6月現在)

主催事業

①第34回富山県青少年美術展

9月12日(土)～15日(火)

富山県民会館美術館・展示室・
ギャラリー

ギャラリ

②第32回富山県子どもフェスティバル

《展示部門》

11月21日(土)～23日(祝)

富山県民会館美術館

《演示部門》

11月22日(日)

富山県民会館ホール

③国際芸術文化交流事業

④芸術文化指導者招へい事業

6月～平成22年3月(未定)

⑤ハンガリー友好交流記念事業

《交流フォーラム》

9月20日(日)

《国際ワークショップ等》

11月

⑥『藝文協だより』204号～208号刊行

⑦『総合文芸誌』とやま文学』第28号刊行

⑧『総合機関誌』藝文とやま』第38号刊行

⑨芸術鑑賞

8月30日(日)

富山県高岡文化ホール

珠玉の金管アンサンブル公演

⑩県民芸術文化祭2009参加

第58回富山県芸術祭

6月～平成22年2月

県内一円

加盟34団体

⑪第15回富山県いけばな公募展

6月27日(土)～28日(日)

富山県民会館地下展示室

⑫国際交流事業

第8回国際友好美術交流展

11月14日(土)～18日(水)

富山県民会館

イ とやま国際アートキャン

2009

11月2日(月)～18日(水)

いこいの村富山

ウ 国際アート交流事業(仮称)

11月2日(月)～18日(水)

富山県民会館、いこいの村富山 他

エ こともバレー遼寧省派遣事業

(派遣期間)8月5日(水)～17日(月)予定

(派遣先)中国遼寧省 遼寧バレー工学校

オ 第14回モノコ世界演劇祭派遣

事業

(派遣期間)8月16日(日)～8月23日(日)

(会場)モノコ公園・国立劇場

カ 日韓友好交流事業 日韓国際

交流書道展

(会期)5月26日(火)～

(出品者)富山県書道連盟会員28名

キ ハンガリー・バラトン美術キ

ャンプ派遣事業

(派遣期間)5月21日(水)～6月11日(木)

(派遣先)ハンガリー・バラトン湖

ク ハンガリー・ホルトバージ美

術キャンプ派遣事業

(派遣期間)平成22年2月予定

(派遣先)ハンガリー・ホルトバージ

受託事業

①県民芸術文化祭2009

総合フェスティバル準備事業

《オープニングフェスティバル》

9月19日(土)

砺波市文化会館

《生活文化展》

9月19日(土)～22日(火)

砺波市文化会館、砺波市農村

環境改善センター、砺波市

美術館

《日本ドナウ交流年記念

ハンガリー・デー》

9月20日(日)

砺波市文化会館 他

②平成21年度県民ふれあい公演

6月～12月(未定)

③中央演劇プロムナード

4月9日(木)～平成22年4月27日(火)

北陸銀行本店中央通ショーウ

インドウ

④ほくぎんアートギャラリー

4月9日(木)～平成22年4月6日(火)

北陸銀行本店

共催事業

①第64回県展

《応募入賞作品》

6月6日(土)～12日(金)

富山県民会館

《会員出品作品》

6月6日(土)～14日(日)

富山県立近代美術館、富山県

水墨美術館

②とやま舞台芸術祭2009

ア「洋楽・民族音楽・洋舞・日

舞公演」

9月23日(祝)

新利賀山房

イ「全日本地域選抜 モダンダ

ンス・ガラ・イン利賀」

10月4日(日)《2回公演》

新利賀山房

ウ「日本舞踊公演」

2月11日(祝)

富山県高岡文化ホール

③美の祭典 越中アートフェスタ2009

11月27日(金)～12月1日(火)《予定》

富山県民会館 美術館 展示

室 ギャラリー ロビー

その他事業

①(社)富山県芸術文化協会表彰

11月1日(日)

富山県民会館

②第4回富山県芸術文化協会「北

日本新聞社長杯ゴルフ大会」

5月23日(土)

富山カントリークラブ

役員の異動

《理事》

(退任)

作農 啓一

河合 隆

石戸 長克

今井 宗秀

(新任)

小西 信英

板倉 均

本吉 達也

安川 宗朱

善本 秀作

得地 秀生

今井 宗秀

加藤 淳

伊東 眞

《参事》

(退任)

奥野 敦子

宮永 圭子

安川 宗朱

余川 宗弘

(新任)

大橋 秀顯

小野 淑子

坪田 宗繁

長井 孝栄

《事務局参与》

(退任)

善本 秀作

得地 秀生

加藤 淳

(新任)

黒田 義昭

《事務局次長》

(退任)

黒田 義昭

ハンガリー・バラトン美術キャンプ派遣事業

— 今秋とやま国際アートキャンプ開催 —

五月二十三日～六月一日に開催されたハンガリー・バラトン美術キャンプに、洋画家で芸文協事務局幹事の藤井武氏を派遣。「前回に引き続き藤井武氏を」という先方の要望に応え、二度目の参加となった。

ハンガリー有数のリゾート地であるバラトン湖畔で、国内外からキャンプに集結した約二十名の芸術家たちとの交流を深めることが出来たとのこと。とりわけ、ブライ・イシュトヴァーン氏など多くの知己の作家との旧交を温め、更には、今秋富山で開かれる「とやま国際アートキャンプ」のためのワークショップ講師の依頼交渉が出来たことは、有意義だったそうだ。

今年十一月二日から十八日まで、いこいの村富山で開催の「とやま国際アートキャンプ」は、これまでハンガリーのホルトバージやバラトン湖での国際美術キャンプに参加してきた藤井氏の提案によるもの。氏によれば、「立体作品による『いなみ国際木彫刻キャンプ』



制作に励む藤井武氏（手前右）

に倣い、平面作品による国際美術キャンプを富山で開くことが出来ないか」との強い思いから、前記プロジェクトを始動した。今秋、ハンガリー、中国遼寧省、韓国江原道から美術家に参加し、寝食をともにして絵画制作やワークショップを行うことが計画されている。これまで主に富山とハンガリーとで行われてきた美術交流が、今後更に幅広い国際美術交流へのジャンプボードとなるよう期待して止まない。

日韓友好交流事業

「日韓国際交流書藝展」

五月二十日(水)～二十六日(火)二十三日(土)開会式、韓国・江原道の江陵美術館で「日韓国際交流書藝展二〇〇九」が開催された。江原道女流書藝協会の要請を受け、富山県書道連盟所属の女流書道家二十八名の作品が韓国に送られ、

現地の人々の鑑賞に供された。江原道からは、春川、原州、江陵など道内各地で活躍するベテランや新進の女流書道家四十九名による作品九十点が展示された。伝統的な漢文書道をはじめ、かな文字とハングル文字の対比、篆刻、書画前衛表現など、バラエティに富んだ作品が並び、趣深い展覧会であった。

つたと江原道女流書藝協会が報じている。

現地誌の記事によれば、江原道女流書藝協会は、公募展への挑戦や書道教室運営を通して、韓国の書道人口の裾野を広げる努力をしているとのこと。「書道を通して自己修養」と「伝統的書法の継承」は、日韓両国の書道家に共通の思いであろう。同記事では、「両国間の文化交流が活発に形成される契機になるのを期待する」と、今回の交流展の実り多き成果を讃えている。

「富山からの出品者」(敬称略)

岡田 雪苑 近藤 芳園

第四回

「北日本新聞社長杯ゴルフ大会」

第四回富山県芸術文化協会「北日本新聞社長杯ゴルフ大会」は、五月二十三日(土)、富山市万願寺の富山カントリークラブで開催しました。

当日は爽やかな風が心地よく感じられる絶好のゴルフ日和に恵まれ、大会長の河合隆北日本新聞社代表取締役社長をはじめ、小泉博芸文協会長ら三十五名が和気藹々

とラウンドしました。

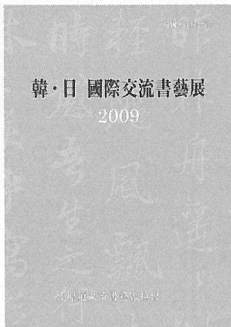
自己ベストを更新する参加者が多いなか、茶道家の桃野宗重さんが見事総合優勝され、書家の喜多莖美智子さんと富山県民会館館長の清水由久さんがそれぞれコース優勝されました。

プレー後、同クラブにおいて、表彰式と懇親会が開かれ親睦を深めました。

次回も風薫る五月後半の土曜日開催を予定しておりますので、奮ってご参加ください。



左から喜多莖美智子さん、桃野宗重さん、清水由久さん



- | | |
|-------|-------|
| 高野 紅苑 | 石井 克代 |
| 江幡 春濤 | 石川知恵子 |
| 中田 陽子 | 中村 美梢 |
| 平野 春汀 | 松本 輝之 |
| 丸橋 河舟 | 水口 香魚 |
| 荒井 白扇 | 今川 芳舟 |
| 大愛 魚苑 | 梶川久美子 |
| 草田 翠苑 | 寺島 花亭 |
| 寺島 博美 | 中野 啓子 |
| 八箇 白鳳 | 平岡千香子 |
| 紅谷 霜葉 | 山岸恵美子 |
| 山根 美幸 | 吉江 翠光 |
| 溪 皎藍 | 佐賀 美園 |

役員	区分	氏名	備考	
参事	詩吟剣舞	宇波千神	剣詩舞道家	
		吉川天啓	〃	
		長瀬天帆	〃	
		民謡(普及)	佐藤松博	民謡指導者
			佐藤久夫	〃
			宮浦豊藍	〃
		華道	北村喜一	〃
			岡崎忍	華道家・草月星秀会代表
			五十嵐一良	華道家
			辻井良雄	〃
			喜多野瑛	〃
			桜井星陽	〃
			藤井聖代	〃
			中島香秀	〃
	坂井貞子		〃	
	前田玲子		〃	
	茶道	磯部実甫	〃	
		金剛寺桂子	〃	
		池谷道子	〃	
		稲垣美梢	〃	
		永原弘子	〃	
		若林利明	〃	
		山下瑞穂	〃	
		磯野宗和	茶道家	
		大橋秀顯	〃	
		小野淑子	〃	
		加藤宗惇	〃	
島ふき子		〃		
竹内宗栄		〃		
服飾	坪田宗亮	〃		
	中川孝栄	〃		
	長井林香	〃		
	平藤野峰	〃		
	桃野宗重	〃		
	能森靖子	服飾研究家		
	我妻真美	〃		
監事	学識経験	林信雄	鑑賞会員代表	
〃	〃	石井克代	書家	

役員	区分	氏名	備考	
事務局参与	日本画	津幡光清	日本画家	
		石坂恵子	〃	
		洋画	野上祇磨	洋画家
	大門清廣		〃	
	大萩幸雄		〃	
	工芸	立川善治	工芸家	
		押田雪峰	書家	
	写真	向井俊久	写真家	
		長谷部律子	合唱指揮者	
	音楽	牧野誠	吹奏楽指揮者	
		小沢真琴	演奏家	
	演劇	窪邦雄	演劇評論家	
		藤間勘弥	日舞家	
	舞	藤間寿賀	〃	
		宮口侗廸	地域文化研究家	
	学識経験	遠藤幸一	美術評論家	
		吉友嘉久	コミュニケーター	
	〃	〃	黒田義昭	舞台制作者

事務局長	総括	舟本幸人	照明家
事務局次長	補佐	市井和彦	洋舞家
〃	〃	利田みさき	日本画家
事務局幹事	美術企画	西藤哲夫	日本画家
〃	〃	藤井武	洋画家
〃	〃	熊谷喜美子	彫刻家
〃	〃	上森四郎	工芸家
〃	〃	経澤青汀	書家
〃	〃	廣野梨川	〃
〃	〃	高橋鐵夫	写真家
〃	音楽企画	黒川雅皓	邦楽家
〃	〃	横野昭	合唱指揮者
〃	〃	岩本博之	吹奏楽指揮者
〃	〃	篠崎秀一	演奏家
〃	芸能企画	藤間松山	日舞家
〃	〃	松下美規	洋舞家
〃	〃	伊藤天水	剣詩舞道家
〃	〃	村松京子	民謡演奏家
〃	企画文芸	神通明美	小説家
〃	〃	佐伯悦子	歌人
〃	生活文化	工藤泰子	華道家
〃	〃	水上寛子	〃
〃	〃	飯塚幸子	茶道家
〃	事業支援	吉村邦子	とやまこども芸術活動支援協議会
主事	事務担当	大野裕美	〃
		広田昭恵	〃
書記	〃	小林	〃

社富山県芸術文化協会事務局

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

電話(076)441-8635 内線123

FAX(076)442-4635

E-mail: info@tiatf.or.jp

URL: http://www.tiatf.or.jp

富山県芸術文化協会役員名簿

平成21年7月

役員	区分	氏名	備考
最高顧問	学識経験	中 沖 豊	前富山県知事
		犬 島 伸一郎	富山市民文化事業団理事長 (財)富山コンベンションビューロー会長
		屋 敷 平 州	元富山大学教授
		西 頭 德 三	富山大学学長
		堤 剛 隆	桐朋学園大学院大学学長
		河 合 隆	北日本新聞社社長
		飛 田 秀 一	富山新聞社社長
		平 石 富 男	NHK富山放送局長
		横 山 哲 夫	北日本放送社長
		武 藏 徹 宣	富山テレビ放送社長
		池 森 武 宣	チューリップテレビ社長
		北 川 敏 範	富山エフエム放送社長
		松 波 孝 之	富山県ケーブルテレビ協議会会長
		大 島 秀 信	日本画家
		横 山 豊 介	彫刻家
		参 議	日本画
大 川 原 和 夫	吹奏楽指揮者		
坪 島 照 信	洋舞家		
田 中 秀 子	服飾研究家		
白 井 千 穂	美術評論家		
定 塚 武 敏	華道家、彫刻家		
岡 崎 星 秀	歌人		
久 泉 迪 雄			
佐 伯 彰 一	文芸評論家		
平 田 純	文芸評論家		
小 泉 博	演出家		
林 清 納	洋画家		
和 田 朝 子	洋舞家		
酒 井 和 佳 子	華道家		
吉 田 泉	文芸評論家		
浅 岡 節 夫	音楽家		
舟 本 幸 人	芸文協事務局長兼任		
岡 田 繁 憲	富山県日本画家連盟代表		
吉 川 信 一	富山県洋画連盟代表		
堀 田 清 治	富山県彫刻家連盟代表		
前 川 正 治	富山県工芸作家連盟代表		
津 田 和 秋 治	富山県書道連盟代表		
中 尾 讓 治	富山県写真連盟代表		
小 西 信 英	富山県造形教育連盟代表		
中 島 浩 山	富山県邦楽協会代表		
松 下 正 樹	富山県合唱連盟代表		
板 倉 均	富山県社会人吹奏楽連盟代表		
伊 尾 孝 敏	富山県学校吹奏楽連盟代表		
土 井 浩 平	富山県オーケストラ連盟代表		
川 上 政 平	富山県能楽団体連絡協議会代表		

名誉会員	学識経験	佐 伯 彰 一	文芸評論家
------	------	---------	-------

名誉会長		平 田 純	文芸評論家
------	--	-------	-------

役員	区分	氏名	備考
会長		小 泉 博	演出家
副会長		林 清 納	洋画家
専務理事	日本画	和 田 朝 子	洋舞家
理事	洋画	酒 井 和 佳 子	華道家
理事	彫刻	吉 田 泉	文芸評論家
理事	工芸	浅 岡 節 夫	音楽家
理事	書	舟 本 幸 人	芸文協事務局長兼任
理事	写真	岡 田 繁 憲	富山県日本画家連盟代表
理事	造形教育	吉 川 信 一	富山県洋画連盟代表
理事	邦楽	堀 田 清 治	富山県彫刻家連盟代表
理事	合唱	前 川 正 治	富山県工芸作家連盟代表
理事	社会人吹奏楽	津 田 和 秋 治	富山県書道連盟代表
理事	学校吹奏楽	中 尾 讓 治	富山県写真連盟代表
理事	オーケストラ	小 西 信 英	富山県造形教育連盟代表
理事	能楽	中 島 浩 山	富山県邦楽協会代表
		松 下 正 樹	富山県合唱連盟代表
		板 倉 均	富山県社会人吹奏楽連盟代表
		伊 尾 孝 敏	富山県学校吹奏楽連盟代表
		土 井 浩 平	富山県オーケストラ連盟代表
		川 上 政 平	富山県能楽団体連絡協議会代表

役員	区分	氏名	備考
理事	演劇	谷 井 美 夫	富山県演劇団体連絡協議会代表
		本 吉 達 也	富山県高校演劇研究協議会代表
		藤 間 勘 寿 弥	富山県日本舞踊協会代表
		可 西 晴 香	富山県洋舞協会代表
		久 郷 秀 男	富山県舞台技術研究会代表
		樋 口 岳 桂	富山県詩吟剣舞連盟代表
		木 谷 政 一	富山県民謡民舞連盟代表
		島 田 幸 男	とやま民謡民舞団体協議会代表
		尾 島 きみ枝	富山県児童文化研究会代表
		宮 本 佐 智 夫	富山県児童文学協会代表
		谷 内 田 重 次	とやま同人誌会代表
		田 中 勲 弘	富山県詩人協会代表
		四 辻 利 達	富山県歌人連盟代表
		中 坪 文 哉	富山県俳句連盟代表
		二 村 文 人	富山県連句協会代表
		参 事	書
堀 田 一 子	富山県華道連合会代表		
安 川 宗 朱	富山県茶道連盟代表		
長 谷 川 総 一 郎	富山県美術連合会会長		
善 本 秀 作	彫刻家		
得 地 秀 生	工芸家		
青 柳 志 郎	書家		
加 藤 淳 翰	音楽評論家		
山 口 翰	舞台照明家		
今 井 宗 秀	茶道家		
米 原 寛 寛	郷土史研究家		
山 口 松 藏	前芸文協専務理事		
伊 東 眞 眞	前芸文協事務局局長		
江 幡 春 涛	書家		
畠 山 耕 雪	書家		
黒 瀬 越 嶺	書家		
経 澤 帰 帆	書家		
浜 谷 芳 仙	書家		
山 本 文 雄	書家・北陸書道院代表		
青 柳 石 襄	書家		
大 島 明 琴	書家		
森 川 巨 邨	書家		
大 谷 弓 子	富山県児童美術研究会代表		
中 川 洋 司	演奏家		
尾 上 菊 一 郎	日舞家		
西 川 扇 博	洋舞家		
谷 井 よう子	洋舞家		
東 海 希 代 里	邦楽家		
和 田 伊 通 子	邦楽家		
河 崎 雅 都 美	邦楽家		
西 田 雅 樂 智	能楽師		
館 聖	能楽師		
松 沢 天 楓	剣詩舞道家		
佐 野 天 慧	書家		

第64回県展

● 県民会館美術展示場に併せて
近代美術館と水墨美術館で開催三年目！



第六十四回富山県美術展が六月六日(土)から六月十二日(金)の七日間に渡り、一般公募が県民会館、会員出品は県立近代美術館(洋画、写真)、水墨画美術館(日本画、彫刻、工芸、書)で開催された(会

員出品は六月十四日まで)。今年是一般公募で二三五五点(昨年度より三四点減少)の応募があり、そのうち昨年より十点多い七二六点が入選し(入選率は五四・四%)、県展会員作品と昨年度の

大賞作品を合わせて八七四点の作品が展示され、県民二二八九三人が鑑賞に訪れた。

また、受賞作品の表彰式が九日(火)県民会館三〇四号室で行われ、各作家の素晴らしい創作意欲とその成果が讃えられた。

なお、入賞作品などは、巡回展として、六月十八日(木)から二十八日(日)にかけて南砺市福野文化創造センターで展示された。

各部門の大賞受賞者と県展会員大賞、県展会員賞の受賞者は次の方々。(敬称略)

〔県展大賞〕

日本画部門	田中 美喜子
洋画部門	城宝 篤史
彫刻部門	田近 美智子
工芸部門	健名 文一
書部門	専徒 伸夫
写真部門	森 弘之
〔県展会員大賞〕	
彫刻部門	横山 豊介
〔県展会員賞〕	
日本画部門	網谷 真佐美
洋画部門	池上 隆
工芸部門	前川 正治
書部門	有川 立虹
写真部門	高橋 鐵夫

平成21年度
中央通アートプロムナード
ほくぎんアートギャラリー
〔展示日程〕(敬称略)

・中央通アートプロムナード
(会場) 北陸銀行本店中央通
シヨウウィンドウ

- 4月9日(木)～5月19日(木) 池上 隆(洋画)
- 5月21日(木)～6月30日(火) 正橋 白鷺(書)
- 7月2日(木)～8月11日(火) 西藤 哲夫(日本画)
- 8月13日(木)～9月29日(火) 上田 弘之(工芸)
- 10月1日(木)～11月10日(火) 中田 紫秋(書)
- 11月12日(木)～12月21日(火) 山本 文郎(洋画)
- 12月23日(木)～平成22年2月2日(火) 山口 裕美(写真)
- 平成22年2月4日(木)～3月16日(火) 黒田 昌吾(書)
- 平成22年3月18日(木)～4月27日(火) 石淵 順子(洋画)
- ・ほくぎんアートギャラリー
(会場) 北陸銀行本店
- 4月9日(木)～7月7日(火) 宇津 孝志(彫刻)
- 7月9日(木)～10月6日(火) 海内 保(工芸)
- 10月8日(木)～平成22年1月5日(火) 熊谷喜美子(彫刻)
- 平成22年1月7日(木)～4月6日(火) 谷口 信夫(工芸)

「とやま文学」 第27号合評会

短詩型選者 外山滋比古氏に：

芸文協の総合文芸誌「とやま文学」第二十七号の合評会が、六月七日(日)午後二時より、県教育文化会館四〇三号室において、編集委員、入賞者、執筆者、一般の読者の方々が参加し開催いたしました。吉田泉企画委員長の挨拶の後、谷内田重次編集委員長の進行で、掲載作品について活発な批評の交換が行われました。

詩部門の文学賞受賞者の大貫國

「藝文とやま」 第37号発刊

「藝文とやま」第三十七号を発刊しました。久泉迪雄氏(「まほろばのこと」)、鈴木忠志氏(「失敗から学ぶこと」)の含蓄深い論説に始まり、昨年表彰を受けられた方々の取材記や随筆、芸文協加盟団体や事務局の活動報告など、富山の芸術界の一年の歩みを辿ることが出来ます。

また、数年来、「富山の文化を支えるもの」をテーマに特集を組んでいます。今回は富山の舞台芸術を取り上げました。富山と縁

典さんの作品「通院日記」については、「病と闘う妻を思う夫の温かい眼差しがさりげない表現の中に生き生きと感ぜられる」「分かりやすい」などの感想が出ました。

「とやま文学」第二十七号のご購入などのお問い合わせは、芸文協事務局までお願いいたします。

また、「第二十八回とやま文学賞」の応募作品の締め切りは、平成二十一年九月末日です。たくさんのご応募お待ちしております。なお、「第二十八回とやま文学賞」の選考は、小説・評論・随筆・児童文学・詩は木崎さと子氏、短

の深い国内外の芸術家に寄稿頂いた他、座談会にお集まり頂いた県内を代表する舞台芸術家の方々に、富山の舞台芸術の歴史や思い出、今後の展望を熱く語って頂きました。グラビア頁では、昨夏開催の「第一回とやま世界こども舞台芸術祭」をはじめ、華やかな舞台の



歌・俳句・川柳は辺見じゅん氏の辞任にともない、新たに外山滋比古氏が担当させていただきます。

様子を紹介しています。

「藝文とやま」は、芸文協会員の皆様に無料でお届けしています。ご覧の上、忌憚のないご講評を頂ければ幸いです。第三十七号をお求めの方は、芸文協事務局までお問い合わせ下さい。

おとこびの人々

(平成21年4月以降受賞順・敬称略)

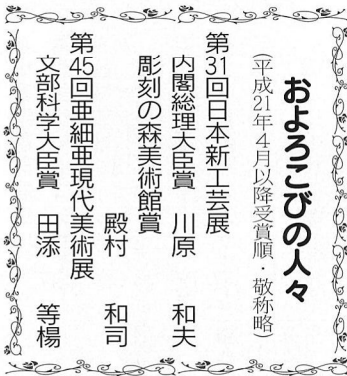
第31回日本新工芸展

内閣総理大臣賞 川原 和夫

彫刻の森美術館賞 殿村 和司

第45回亜細亜現代美術展

文部科学大臣賞 田添 等楊



第十五回 富山県いけばな公募展

六月二十七日(土)・二十八日(日)の両日、第十五回富山県いけばな公募展が、県民会館地下展示室にて行われました。

県内の流派を代表する華道家二百五十二名と一般公募五十二名による力作二百六十四点が公開され、訪れた五千百二十三名の来場者の目を惹きました。

会場は、色鮮やかな季節の花々をふんだんに使った作品が涼感を誘い、心華やぐ空間を演出していました。

開会式では、酒井和佳子実行委

員長、河合隆北日本新聞社代表取締役社長のあいさつ、泉洋県生活環境文化部長の祝辞に引き続き、小泉博芸文協会会長を加えた四人によるテープカットで開幕しました。

一般公募の中から、次の五名の方々に小泉会長から奨励賞と記念品が贈られました。

【奨励賞】(敬称略)

坂口 美香 柳瀬喜美代

木下カンナ 三井 祐后

田村亜佑美



